

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—148713

⑬ Int. Cl.³
A 61 K 7/02

識別記号

庁内整理番号
7306—4C

⑭ 公開 昭和59年(1984)8月25日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 5 頁)

⑮ 鉛筆化粧料

⑯ 特 願 昭58—21027

⑰ 出 願 昭58(1983)2月10日

⑱ 発 明 者 辻田允久
東京都中央区銀座7丁目5番5
号株式会社資生堂内

⑲ 発 明 者 曹山美和
横浜市港北区新羽町1050番地株
式会社資生堂研究所内

⑲ 発 明 者 川浦武

横浜市港北区新羽町1050番地株
式会社資生堂研究所内

⑲ 発 明 者 池田敏秀

横浜市港北区新羽町1050番地株
式会社資生堂研究所内

⑳ 出 願 人 株式会社資生堂
東京都中央区銀座7丁目5番5
号

明 細 書

1. 発明の名称

鉛筆化粧料

2. 特許請求の範囲

油分または／およびワックス類と粉末、界面活性剤を含有する鉛筆化粧料において、平均分子量300～700のポリエチレンワックスを8～30 wt%含有することを特徴とする鉛筆化粧料。

3. 発明の詳細な説明

本発明は改良された鉛筆化粧料に関する。さらに詳しくは、使用性が良好で、経時でも発粉を生じることのない保存安定性に優れた鉛筆化粧料に関する。

鉛筆化粧料は、油分または／およびワックス類と粉末、界面活性剤を含有する化粧料を芯に成型し、このものを木質等の軸中に保持したもので、目もとを美しく装う為にアイライン、アイシャドウとして、また、口唇を魅力的に装飾する為のリップペンシルとして用いられる。化粧料であるの

で当然、肌へのタッチがソフトで描き易く、温度依存性の小さいものが望まれる。ここでいう温度依存性の大小とは、使用時の環境温度の差による折れ強度のちがい、あるいは使用性のちがいが著しいことをいう。つまり、温度依存性が大きい芯は高温サイドで、やわらかくなり折れ易く、また低温側では硬く、描きにくくなる。従って、温度依存性は小さいものが好ましい。

従来、鉛筆化粧料において、肌へのタッチがソフトで、描き易くきれいに仕上げる効果を高める為に固型分である高級アルコール、高級脂肪酸、木ロウ等を減らす等の方法をとっているが、十分な効果を得るまで固型分を減らすと鉛筆化粧料としての折れ強度が損われるという欠点があった。

また、従来の鉛筆系では芯に発粉現象が起り、外観的品質の劣化をひき起こす大きな欠点があった。ここでいう発粉とは、鉛筆成分中の特定の成分、例えば脂肪酸等が経時により芯表面に析出してくる現象で、外観的には粉をふいた様子を呈し、外観の美しさが著しく損われるものである。

従来の鉛筆化粧料においては、この現象が顕著であった。

本発明者は、こうした事情にかんがみ、上記の欠点を解決すべく鋭意研究を重ねた結果、油分または／およびワックス類と粉末、界面活性剤に加え、特定のポリエチレンワックスを特定量配合した鉛筆化粧料は、肌へのタッチがソフトで描き易く、温度依存性が小さく折れ強度も強く、また、発粉が起らないという効果を有し、しかも鉛筆化粧料として必要な他の特性をも兼備していることを見だし、この知見に基づいて本発明を完成するに至った。

すなわち、本発明は油分または／およびワックス類と粉末、界面活性剤を含有する鉛筆化粧料において、平均分子量300～700のポリエチレンワックスを5～30 wt%配合することを特徴とする鉛筆化粧料を提供するものである。

以下、本発明の構成に就いて詳述する。

本発明の鉛筆化粧料の基剤は油分または／およびワックス類と粉末、界面活性剤で構成される。

この中から1種または2種以上が任意に選択される。配合量は一般的に0.5～70 wt%である。

界面活性剤は化粧品用として用いられる皮膚安全性の高いものであればよく、従来使用されていた周知のものを使えばよい。たとえば、ソルビタンモノオレート、ソルビタンセスキオレート等のソルビタン脂肪酸エステル、グリセリルモノステアレート、グリセリルモノオレート等のグリセリルモノ脂肪酸エステル等がある。この中から1種または2種以上が任意に選択される。配合量は一般的に0.1～5 wt%である。

本発明で用いられるポリエチレンワックスは、分子量が300～700のものの中から選択されるが、好ましくは450～550である。300未満では硬化力がなく効果が十分に発揮できない。また、700以上では鉛筆化粧料の融点が高くなり製造がしにくくなる。また、芯が得られたとしても、その芯は肌へのソフト感がなく描きにくい。

ポリエチレンワックスの配合量は5～30 wt%の範囲で選択されるが、好ましくは10～20 wt%であ

油分は皮膚安全性の高いものであればよく、従来化粧品分野で用いられていた周知のものを使用することができる。たとえば、流動パラフィン、スクワラン、イソプロミルミリステート、オリーブ油、ヒマシ油等が挙げられる。これらの中から1種または2種以上が任意に選択される。配合量は一般的に0.5～50 wt%である。

ワックス類は、化粧料に一般に用いられるワックス類であって、たとえば、セレシンワックス、ラノリン、固型パラフィン、マイクロクリスタリンワックス、ワセリン、ビースワックス、カルナバワックス、キャンドリラワックスなどが挙げられる。これらの中から1種または2種以上が任意に選択される。配合量は一般的に0.5～20 wt%である。

粉末は、天然または合成のもので従来用いられていた周知のものを使用することができる。たとえば、タルク、マイカ、カオリン、二酸化チタン、亜鉛華、硫酸バリウム、チタンマイカ系パール剤、有機顔料、無機顔料、ナイロンパウダーなどの合成樹脂粉末などが挙げられる。

5 wt%未満では、芯の折れ強度が十分でなく、30 wt%を越えると芯が硬くなり、描きにくくなるので好ましくない。

本発明の鉛筆化粧料には上記の必須成分に加え必要に応じて保湿剤、香料、顔料、酸化防止剤、溶剤等が配合される。もちろん、これらは本発明の効果を損わない質的、量的条件下で使用されなければならない。

本発明の鉛筆化粧料は肌へのタッチがソフトで描き易く、温度依存性が小さく、折れ強度も強い。しかも、発粉を防止した鉛筆化粧料であって、メイクアップの落し易さ、耐水性、耐油性、使用可能期間等鉛筆化粧料として要求される性質をも兼備するものである。

次に実施例によって本発明をさらに詳細に説明する。本発明はこれにより限定されるものではない。配合量は重量%である。

(実施例1、比較例1)アイベンシル

比較例1

- ① 硬化ヒマシ油 100
 ② ステアリン酸 100
 ③ トリファット PS458 100
 ④ モクロー 50
 ⑤ 流動パラフィン 70
 ⑥ 酸化鉄 580

(製法)

①～⑥を85℃に加熱溶解した。これに⑦を添加、攪拌混合した後、ローラー処理を5回行い4mmφに封出成型した。

実施例1

- ① セレシンワックス 20
 ② ポリエチレンワックス(MW500) 150
 ③ キャンドリラロウ 20
 ④ ソルビタンセスキオレート 10
 ⑤ 流動パラフィン 220
 ⑥ 酸化鉄 580

※2 実際の使用に於いて官能で評価。

- ◎ 非常に描き易い
 ○ 描き易い
 △ 描きにくい
 × 非常に描きにくい

※3 ① 実際の使用に於いて、使用時の気温5℃、25℃間の差を官能で評価。

- ◎ 温度依存性が全くなし
 ○ " が少い。
 △ " がある。
 × " が非常にある。

② レオメータを使用し硬度を測定。

(測定条件)

機 種 不動工業株式会社 WRM-2002J型
 針 径 10φ
 上昇速度 2cm UP/min
 測定温度 0℃、25℃、50℃に1時間以上放置後
 測定

(製法)

①～⑥を85℃に加熱溶解した。これに⑦を添加、攪拌混合したのち脱気し、4mmφの金型に流し込み成型した。

(効果)

実施例1と比較例1の品質評価を行い、その結果を(表-1)に示した。

(表-1)

	比較例1	実施例1
肌へのソフト感※1	△	◎
描き易さ※2	△	◎
温度依存性※3	×	○
折れ強度※4	◎	◎
発粉※5	×	◎

※1 実際の使用に於いて官能で評価。

- ◎ 非常にソフトである
 ○ ソフトである
 △ かたい
 × 非常にかたい

(測定結果)

	0℃	25℃	50℃
比較例1	600g	350g	5g
実施例1	300g	200g	100g

(数値が大きい程硬度が大きいことを示す。)

※4 ① 実際の使用に於いて、官能で評価。

- ◎ 非常に折れにくい
 ○ 折れにくい
 △ 折れ易い
 × 非常に折れ易い

② レオメータを使用し折れ強度を測定

(測定条件)

機 種 不動工業株式会社 NMR-2002J型
 測定温度 25℃ 1時間放置後測定
 支点間距離 2cm

(測定結果)

比較例1	160g
実施例1	130g

(通常、80g以上であれば実使用で折れを生じない。)

表 5 2ヵ月間室温に放置したものの芯表面を観察。

- ◎ 発粉が全く認められない
○ “ わずかに認められる
△ “ はっきり認められる
× “ はげしく認められる

(以下余白)

(表-1) から明らかな様に、実施例1の鉛筆化粧料は肌へのタッチがソフトで描き易く、温度依存性が小さく、折れにくく、また発粉もなく、非常に優れていることがわかる。これに反して、比較例1は折れ強度は非常に強いが、肌へのソフト感がなく、描きにくく、温度依存性も大きい。次に製品の評価を鉛筆化粧料使用経験者20名の実使用テスト(該鉛筆化粧料を使いきるまで)にて行なった。結果を(表-2)に示す。表中の数字は設問に対して肯定の回答をした人の数である。

(表-2)

	比較例1	実施例1
肌へのソフト感がある	0	20
描き易い	3	17
温度依存性がない	3	16
折れ強度が強い	19	18
使用期間中の発粉	0	20

(名)

(表-3)の実使用テスト結果から明らかなように本発明による鉛筆化粧料は肌へのタッチがソフトで描き易く、温度依存性が小さく、折れにくく、

また、発粉が防止されていることが確認された。

(実施例2、3、比較例3、4、5)アイライン

	比較例2	実施例2	実施例3	比較例3	比較例4	比較例5
① マイクロクリスタリンワックス	21.5	14.5	4.5	—	4.5	4.5
② ポリエチレンワックス	(M.W.500) 3.0	(M.W.300) 1.0	(M.W.700) 2.0	(M.W.500) 3.0	(M.W.250) 2.0	(M.W.800) 2.0
③ キャンデリラワックス	2.0	2.0	2.0	—	2.0	2.0
④ ソルビタンモノオレート	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
⑤ 流動パラフィン	22.0	22.0	22.0	17.5	22.0	22.0
⑥ 顔料	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
⑦ パール剤	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
⑧ 酸化防止剤	微量	微量	微量	微量	微量	微量

(製法)

①～⑤及び⑧を60℃に加熱溶解した。これに⑥を加え、攪拌混合した後、6mmφ金型に流し込み成型した。

(以下余白)

(表-3)効果

	比較例2	実施例2	実施例3	比較例3	比較例4	比較例5
肌へのソフト感	○	◎	◎	×	◎	×
描き易さ	△	◎	◎	×	△	×
温度依存性	△	○	○	○	△	○
発粉	◎	◎	◎	○	◎	◎
折れ強度	×	◎	◎	◎	×	◎

評価方法は(表-1)の場合と同様である。

(表-3)から明らかな様に、実施例2、3の鉛筆化粧料は肌へのタッチがソフトで、描き易く、温度依存性が小さく、折れ強度も強い。また、発粉もせず、非常に優れていることが明らかになった。

実施例1と同様にして実使用テストを行った結果、(表-3)の結果と同様の結果が得られ、鉛筆化粧料として十分な機能を有していることが確認された。

(実施例4)アイシャドー

① ポリエチレンワックス (M.W.500)	6.0
② カルナバワックス	1.0

③	グリセリルモノオレート	1.0
④	グリセリルトリエチルヘキサノエート	42.0
⑤	群膏	10.0
⑥	パール剤	20.0
⑦	カオリン	20.0

(製法)

①～④を95℃に加熱溶解した。これに⑤～⑦を加、攪拌混合した後脱気し、4mmφの金型に流し込み成型した。

(実施例5)リップペンシル

①	ラノリン	5.0
②	ポリエチレンワックス (M.W.500)	10.0
③	ソルビタンセスキオレート	1.0
④	キャンデリラワックス	5.0
⑤	ヒマシ油	20.0
⑥	有機顔料	10.0
⑦	パール剤	20.0
⑧	二酸化チタン	10.0
⑨	マイカ	10.0
⑩	酸化防止剤	微量

(製法)

①～④、⑩を95℃に加熱溶解し、これに⑤～⑨を加、攪拌混合した後脱気し、4mmφの金型に流し込み成型した。

(実施例4、5)で得られた鉛筆化粧料は、肌へのタッチがソフトで、描き易く、温度依存性が小さく、折れ強度も強い。また、発粉もせず、また、鉛筆化粧料として十分な機能を有していることが確認された。

特許出願人 株式会社 資 生 堂

- (54) **PREPARATION OF MILKY LOTION FOR PET**
 (11) 59-148711 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-23402 (22) 15.2.1983
 (71) MIYUKI KOBAYASHI (72) TOSHIROU MASUDA
 (51) Int. Cl. A61K7/00

PURPOSE: To obtain the titled milky lotion for pet, resistant to sedimentation and separation, etc. during storage, by emulsifying an animal oil or fat or vegetable oil using an oligosaccharide compound as an emulsifier.

CONSTITUTION: An animal oil or fat solid at room temperature, or a vegetable oil such as almond oil, camellia oil, etc. which has been considered hitherto as a hardly emulsifiable oil, is emulsified by using an oligosaccharide compound prepared from a vegetable raw material, as an emulsifier. For example, 1,000g of water heated at 80°C is mixed with 100g of almond oil, 50g of a 30g/l solution of PVA having a polymerization degree of 500, and a 50% solution of an oligosaccharide compound, and the mixture is stirred for about 60min by a high-speed agitator to obtain a milky lotion. The lotion can be applied to pets without causing undesirable effects such as oxidative discoloration, tangling of the hair, stickiness, hardening of the hair, etc.

- (54) **COSMETIC AND DRUG CONTAINING TANNIN**
 (11) 59-148712 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-23456 (22) 15.2.1983
 (71) KINGO YOSHIDA (72) KINGO YOSHIDA
 (51) Int. Cl. A61K7/00, A23L1/34, A61K7/50, A61K35/78

PURPOSE: To rejuvenate the skin from inside by adding tannin to a cosmetic, and to prevent the senility from the inside of the body by adding tannin to a health food or a drug.

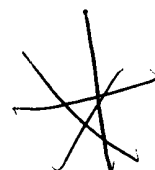
CONSTITUTION: Green tea or crane's-bill (*Geranium nepalense*) is pulverized to fine powder. The powder or tannin extracted and purified therefrom is added to beauty wash such as eau de Cologne, milky cosmetic such as cream, solid cosmetic such as lipstick, powdery cosmetic such as face powder, and all other cosmetics such as bath liquid, hair tonic, face or body pack, etc., or to a health food or a drug. The tannin strongly suppresses the formation of lipid peroxide, and accordingly, the aging of the cells can be prevented.

BEST AVAILABLE COPY

- (54) **PENCIL-TYPE COSMETIC**
 (11) 59-148713 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-21027 (22) 10.2.1983
 (71) SHISEIDO K.K. (72) MASAHISA TSUJITA(3)
 (51) Int. Cl. A61K7/02

PURPOSE: To provide a pencil-type cosmetic having excellent usability and storable stably without causing blooming, by compounding a specific amount of a specific polyethylene wax to a base containing oil and/or wax, powder, and a surface active agent.

CONSTITUTION: The objective pencil-type cosmetic is obtained by compounding (A) a base composed of (i) 0.5~50wt% of an oil such as liquid paraffin, squalane, olive oil, etc. and/or 0.5~20wt% of a wax such as lanoline, solid paraffin, carnauba wax, etc., (ii) 0.5~70wt% of powder such as talc, mica, organic or inorganic pigment, etc. and (iii) 0.1~5wt% of a surface active agent such as sorbitan fatty acid ester, with (B) 5~30wt%, preferably 10~20wt% of a polyethylene wax having an average molecular weight of 300~700, preferably 450~550. The obtained cosmetic is applicable easily to the skin with soft touch and has low temperature dependency and high breaking strength.



- (54) PREPARATION OF MILKY LOTION FOR PET
 (11) 59-148711 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-23402 (22) 15.2.1983
 (71) MIYUKI KOBAYASHI (72) TOSHIROU MASUDA
 (51) Int. Cl. A61K7/00

PURPOSE: To obtain the titled milky lotion for pet, resistant to sedimentation and separation, etc. during storage, by emulsifying an animal oil or fat or vegetable oil using an oligosaccharide compound as an emulsifier.

CONSTITUTION: An animal oil or fat solid at room temperature, or a vegetable oil such as almond oil, camellia oil, etc. which has been considered hitherto as a hardly emulsifiable oil, is emulsified by using an oligosaccharide compound prepared from a vegetable raw material, as an emulsifier. For example, 1,000g of water heated at 80°C is mixed with 100g of almond oil, 50g of a 30g/l solution of PVA having a polymerization degree of 500, and a 50% solution of an oligosaccharide compound, and the mixture is stirred for about 60min by a high-speed agitator to obtain a milky lotion. The lotion can be applied to pets without causing undesirable effects such as oxidative discoloration, tangling of the hair, stickiness, hardening of the hair, etc.

- (54) COSMETIC AND DRUG CONTAINING TANNIN
 (11) 59-148712 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-23456 (22) 15.2.1983
 (71) KINGO YOSHIDA (72) KINGO YOSHIDA
 (51) Int. Cl. A61K7/00, A23L1/34, A61K7/50, A61K35/78

BEST AVAILABLE COPY

PURPOSE: To rejuvenate the skin from inside by adding tannin to a cosmetic, and to prevent the senility from the inside of the body by adding tannin to a health food or a drug.

CONSTITUTION: Green tea or crane's-bill (*Geranium nepalense*) is pulverized to fine powder. The powder or tannin extracted and purified therefrom is added to beauty wash such as eau de Cologne, milky cosmetic such as cream, solid cosmetic such as lipstick, powdery cosmetic such as face powder, and all other cosmetics such as bath liquid, hair tonic, face or body pack, etc., or to a health food or a drug. The tannin strongly suppresses the formation of lipid peroxide, and accordingly, the aging of the cells can be prevented.

- (54) PENCIL-TYPE COSMETIC
 (11) 59-148713 (A) (43) 25.8.1984 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-21027 (22) 10.2.1983
 (71) SHISEIDO K.K. (72) MASAHISA TSUJITA(3)
 (51) Int. Cl. A61K7/02

PURPOSE: To provide a pencil-type cosmetic having excellent usability and storable stably without causing blooming, by compounding a specific amount of a specific polyethylene wax to a base containing oil and/or wax, powder, and a surface active agent.

CONSTITUTION: The objective pencil-type cosmetic is obtained by compounding (A) a base composed of (i) 0.5~50wt% of an oil such as liquid paraffin, squalane, olive oil, etc. and/or 0.5~20wt% of a wax such as lanoline, solid paraffin, carnauba wax, etc., (ii) 0.5~70wt% of powder such as talc, mica, organic or inorganic pigment, etc. and (iii) 0.1~5wt% of a surface active agent such as sorbitan fatty acid ester, with (B) 5~30wt%, preferably 10~20wt% of a polyethylene wax having an average molecular weight of 300~700, preferably 450~550. The obtained cosmetic is applicable easily to the skin with soft touch and has low temperature dependency and high breaking strength.